

土地付き太陽光の分譲販売スタート

メンテナンスや自然災害補償付き

ティーエスピー



ティーエスピー
(広島県広島市)
多田多延子社長

環境事業に力を入れるティーエスピー（広島県広島市）は、投資家を対象に、太陽光発電システムの分譲販売仲介をスタートした。

今回売り出すのは、「土地付き分譲タイプの

50kW未満のミニソーラー」。関東近郊の太陽光発電設備に適した土地・設備を販売する。

なかには、最近では貴重となつた売電単価42円/kWhの物件が39カ所、同37円の物件が約2

00カ所、あるという。販売価格は、1800万円（税別）で、投資利回りは、42円物件で12.14%、37・8円物件で10.5%とくなっている。

販売後のメンテナンス

にも力を入れており、年間の売電価格の10%を預かり、メンテナンス、遠隔監視、草むしり、パネル清掃などを行うという。メンテナンス費用の中には自然災害補償の保険も含まれている。

同社が加入する東京海上日動火災保険の企業総合保険（財産補償条項）は、火災や落雷、風災はもとより、外部からの物体の衝突、盗難、水災、電気的、機械的その他偶

然の破損事故などが発生している。

した際に、保険料が支払われる内容。

さらに投資家にとって大きな魅力となつていてのが、グリーン投資減税の活用だ。設備の一括償却が可能となる。

は、「20年間の買い取り保証がある太陽光発電への投資は、手堅い資産運用のひとつです。このたび土地付き分譲にしましたが、価格設定も安価にしています」と語った。

なお、ティーエスピーは、賃貸住宅の清掃や原状回復リフォームなどで使用される「スーパーコ・クリーナー」の開発、販売を行つており、賃貸業界に多くの顧客を持つ